

もしものときに備える

自分に合った避難行動を事前に確認しましょう

リニューアル版は5月に全戸配布予定

水害ハザードマップ

浸水想定区域マップや、「いつ」「だれが」「何をするのか」を時系列で整理した「マイ・タイムライン」の作成方法、避難前に家族で準備することなどを掲載し、よりわかりやすくリニューアルします。



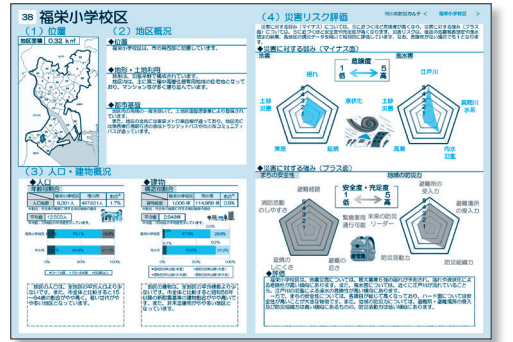
減災マップ（地震）

市を4つの地区に分けて、避難所などの防災関連情報を地図上に示す他、震度分布や液状化被害などの被害の想定も掲載しています。



防災カルテ

小学校区単位で地震や水害による影響を、地形や建物、人口構成などの地域特性からリスク評価し、効果的な災害対策の方向性などを記載しています。

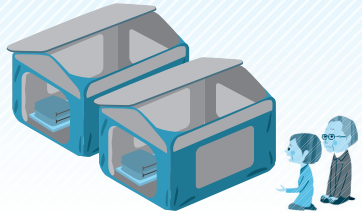


市公式Webサイトからも確認できます。

避難所生活を少しでも快適に

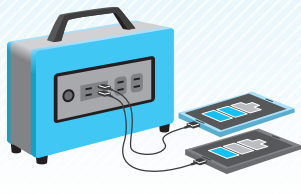
プライベートテント

避難所でのプライバシー確保と、授乳や体調の悪い方のために、テントを備蓄します。



ポータブル蓄電池

災害情報の入手に必要な携帯電話などの充電用に、ポータブル蓄電池を備蓄します。



衛生用品

避難生活での健康対策として、マスクやウェットティッシュなどを備蓄します。



食料等

長期保存ができてすぐに食べられるパンやレトルトカレーなどを備蓄します。



支え合うための協力体制

地域における協力

公立小学校など39校を「小学校区防災拠点」として、災害時に地域の情報収集や避難生活支援の活動拠点としています。この防災拠点を地域から支える組織が「小学校区防災拠点協議会」です。地域住民が主体となり、日頃から災害時に使用する避難所の運営についての検討や、避難所開設訓練などを行っています。

小学校区防災拠点協議会



▲避難所開設訓練の様子

事業者などとの協力

市では、災害時に物資供給や物資輸送、医療支援、災害復旧などが円滑に行えるよう、民間事業者や団体などと支援協定を締結しています。



▲ボランティア水防活動支援に関する協定締結式(3月6日)

避難所とは…

避難場所とは

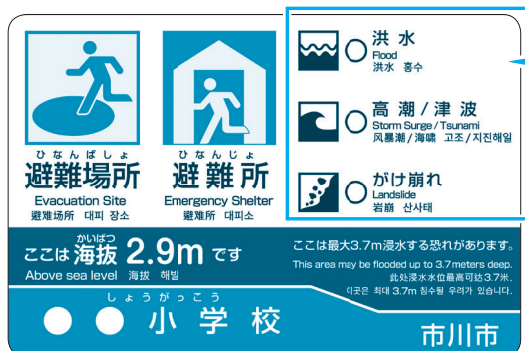
災害が発生し、また発生のおそれがある場合に、緊急的に避難する場所(例:学校の校庭)

避難所とは

自宅で生活できない場合に、避難生活を送る場所。避難者や浸水の状況などにより開設されます。(例:学校の体育館)

風水害時は、気象状況や避難所周辺の災害リスクを判断して避難所を選定し、開設していきます。

避難所看板が新しくなります



記載のある災害時に利用できます。



災害時に備えて市ではさまざまな取り組みを行っていますが、避難所の備蓄品にも限りがあります。市民のみなさんも食べ物や飲み物、避難グッズなどを日頃から準備し、いざというときに自分や家族の安心・安全のために備えてください。